



最後までガンバレー 益城第二幼稚園



益城町

議会だより

清水

せい すい

平成25年(2013) 9月定例議会 No.53



皆で健康を考えよう
学校自慢 木山中学校

全国広報委員研修に学ぶ

「伝える」から

「伝わる」広報誌へ

常任委員会レポート

町政を問う 一般質問

平成25年度 一般会計
補正予算など審議

P12

P10

P8~P9

P4~P7

P2~P3

平成25年度補正予算

子育て支援がさらに充実

保育士の処遇改善に補助金

平成25年第3回定例議会は、9月10日から18日まで会期9日間で開かれ、平成25年度補正予算7件、平成24年度決算認定9件、条例の改正4件、報告2件について審議を行い、可決・認定することに決定した。主な補正は保育士の処遇改善臨時特例事業補助金588万円、来年2月に予定している益城町制60周年記念行事準備費274万円など。また請願1件については不採択とした。

補正予算

保育士の人材確保対策として保育士等処遇改善臨時特例事業補助金

保育士の人材確保対策を推進するため、県の安心子ども基金を活用して、保育士の処遇改善に取り組み認可保育所への補助を行う。県からの補助率は100%である。

これは待機児童の早期解消のために、保育所の整備等によって量的拡大を図る中に、保育士の人材確保及び処遇改善に取り組む事業となっている。

来年2月

益城町制60周年記念式典

平成26年2月22日、益城町制60周年記念式典が予定されており、準備費として補正が決定した。過去30周年が昭和59年、40周年が平成6年、50周年が平成16年に実施されているが今回は60周年として式典を中心に計画されている。

平成24年度決算

一般会計決算の 単年度収支の状況

平成24年度一般会計収支の状況は、歳入総額が110億1980万4千円、歳出総額105億1359万2千円、歳入歳出差引額が5億621万2千円となっている。

翌年への繰越財源が2億500万1千円あり、実質収支額は3億121万1千円となる。また、単年度収支は2865万8千円の赤字となっている。

請願1件不採択

国に対して「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願については、賛成少数で不採択となった。

臨時議会

平成25年8月12日

文化会館外壁他改修工事及び広安西小学校普通教室棟増築工事(2期)に伴う請負契約の締結について審議し、いずれも賛成多数で可決した。

文化会館外壁改修工事について、予定価格9602万円に対し、落札価格が9380万円と落札率はかなり高くなっている。また入札参加業者6社ともに高い入札値を提示しているが、執行部としてこの数字を適正と考えているのか。

東日本の復興事業、被災地以外での耐震工事、更に円安によって輸入価格の高騰等建築資材が高騰している。

一般競争入札に応じた各社は、適正な工事、適正な価格で工事に必要な金額を見積もった結果であり、適正であると思う。

広安西小学校普通教室棟増築工事について、25年度当初予算では1億5740万9千円であったが、今回2億を超えるのはなぜか。

24年度補正で3割の4998万5千円を計上し、25年度当初予算で、国の補助7割の1億5740万9千円、合わせて総額2億739万4千円となった。

広安西小学校普通教室棟増築工事について、一期工事は工事期間が2ヶ月も遅れた。今回は大丈夫か。

工期には余裕をもって計画している。

ご意見番

子ども・子育て会議の委員選定 グラウンドと運動広場どうちがう？

委員の選定は子ども子育て支援に関し、学識経験のある者、事業に従事する者、及び公募による者で15名以内を考えている。

今回条例制定も提案されているが、子ども・子育て会議の委員の選定と範囲はどう考えているのか。

**平成25年度
補正予算等を問う**

小池秋永公民館のバypass工事に伴う移転費用について、その移転先土地、建物について伺う。

移転先は、小池秋永地内に予定している。面積は547㎡で、県・町・移転先所有者の三者契約で締結予定であり、現公民館用地売却代金と移転予定地取得価格との差額は、256万4千円を計上した。建物については該当集落と県とで移転に伴う補償について協議中である。

平成24年度 決算を問う

一般会計決算の状況から、「益城台地東土地区画整理組合準備委員会への運営補助及び技術支援、西地区の商業施設誘致に伴う計画変更、東地区の市街化区域編入に伴う手続き関係協議を行った」とはどのような内容か。

運営補助とは、毎年計上している運営費に対する金銭的な補助のことである。西地区の商業施設誘致に伴う計画変更とは、平成21年に住居系の用途で許可がおりているが、今回商業施設イゾミの進出ということがあり、その変更に伴う協議と、東地区の市街化区域編入の線引き見直しに関して県・市と調整を行なっている。

体育施設費に関連して、飯野西地区運動広場はグラウンドになっていないが、グラウンドと運動広場の違い、利用目的についての違いは。

少した。主な要因としては、国民健康保険加入者が減少し、さらに入院など的高額医療費の件数の減少によるものである。

町道の路線認定

高速道路西線は幅員が狭く、車の離合が難しい。今後改良等は考えているのか。

車の離合を可能にするためには、道路西側の排水路に蓋をして道路幅員の確保が考えられる。今後、排水路が車道として利用できるか調査を行い、道路整備の方法を検討していく。



区画整理空中写真



広崎地区高速道路西側



宮崎 金次議員

地域再生道路沿いの開発が、なぜ出来ないのか

各種の法的制約で、具体的な計画が作れない

集落内道路をせめて救急車が通れる広さに

法令の制約や町としての基準により公平に対処

地域再生道路沿いの開発計画が出来ない要因は何か

宮崎 幾重もの規制のかかる第2空港線沿いや、県道小池竜田線や第2空港線への接続道路問題で遅々として進まない区画整理事業等から見て、来年度完成予定の空港からグランメッセまでの地域再生道路を活用した町の開発が最も重要であるのに、なぜ地域再生道路沿いの開発計画が具体的に作成できないのか。その要因は、法令か、経費か、町民の意思か。

町長 農地法等の規制で具体的な計画が作れない

町長 本地域の開発構想については、第5次益城町総合計画や益城町都市計画マスタープラン等により構想を決めているが、市街化調整区域内にあり農地法等の規制を受け、今のところ具体的な開発計画が作成出来ないのが現状である。今後とも我が町の将来を考え、規制緩和を勝ち取るために努力したい。



来年度完成予定の地域再生道路

各種の制約を克服して、本地域の開発計画を早急に作るべきでは

宮崎 例え各種の制約があつたとしても、我が町の将来を見た場合、地域再生道路沿いを我が町開発の核、更に起爆剤としての地位付けのもとに、一貫した我が町の意思としての開発計画を早急に作成し、県等に働きかけをして行くべきではないのか。

民間の活力を活用しながら、地区計画等により開発を進める

町長 地域再生道路を活用して秩序ある町の開発をしたいと考えているが、農地法や農振法あるいは都市計画法等の規制を受け、具体的な計画が作れない。今後は、総合計画や都市計画マスタープランに沿って、民間活力も活用しながら、地区計画等により町づくりを進めたい。



集落内の狭い道路

集落内の里道を緊急時に救急車が通れる広さに出来ないか

宮崎 里道を広げる場合は、建築基準等から道路の中心から2メートルか、幅員4メートルの道路にしているが、集落内の道路用地の提供は大変困難なので、出来れば救急車が通れる約3メートル程度の道幅が出来ないか。更に提供した道路用地の固定資産税は減額出来ないか。

法的な制約や町としての基準に基づき公平に対処 道路用地の税の減額は可能

町長 道路を拡幅する場合は、建築基準法や都市計画法等制限を受け、更に町としても公共事業としての基準を設けて処理しているので、必ずしも救急車の通れる3メートル幅に広げることが出来ない。また道路用地に提供された部分は、その面積が明確であれば、町に申請すれば、固定資産税の減額は可能である。



江越 信保議員

健康マイレージ制度を導入して町民の健康増進をはかれ

導入している自治体などを調査・研究し、スピード感をもって取り組む



インストラクター指導のもと開催中の「健康運動教室」

健康診断・講座を受講してポイントが貯まる「健康マイレージ」制度を

江越 健康マイレージを提案する。高齢化が進む中で、医療費と介護費の問題は深刻であり、健康なまちづくりを目指す観点から、健康診断の受診や各種健康講座の受講、スポーツ活動なども含めて、参加された方にポイントが貯まる「健康マイレージ」制度を導入してはどうか。

既に実施している自治体の実施内容を参考に研究を進める

町長 町が実施する健康メニューを行った住民の方が特典を受けられる制度と認知している。町では健康的に活動できる健康寿命を伸ばすことを大きな目標とし、健康づくりや健康診断の受診を奨励している。マイレージの取り組みを既に実施している自治体の内容を調査研究して、実現に向かって取り組んでいく。

ポイントをためて健康にさらに入湯券や商品割引券にも

江越 溜まったポイントの活用については公共施設の利用券や文化会館での文化事業の割引、入浴券、マッサージ券、更には商品券や割引券、保育園や幼稚園、学校などへの寄付などに活用できる。

まさに健康になって社会貢献ができる一石二鳥ではないか。



保健福祉センターにおける健康講座

調査・研究し、スピード感を持って取り組む

町長 健康づくり推進員や関係組織と健康問題については研究をして、健康なまちづくりに取り組み、今後スピード感を持って取り組んでいく。



高橋津代美議員

保健福祉センターの活用状況はどうか

さらなる各種事業展開を検討していく

子どもの歯の予防についての取り組みは

フッ化物洗口の実施を計画している

保健福祉センター
利用者の感想は

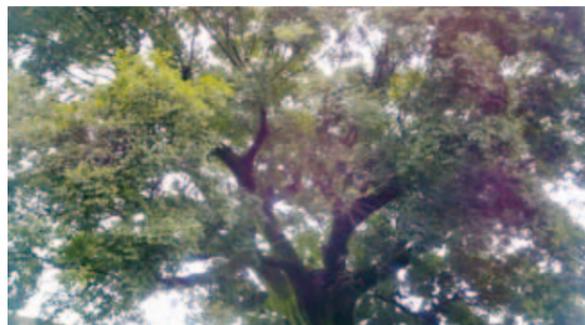
高橋 5月オープン以来の来館者数及び利用者の感想はどうか。
また、健康づくり事業においては、申し込み者が多いと聞いているが、今後の対策は何か考えているのか。
さらに、卓球台の使用及びアオバズクの保護についてはどのように考えているのか。
温かみと利便性のある施設として好評である

町長 5月の開館以来、各種検診、予防接種などの保険事業で約5,000人、公民館の生涯学習活動として57団体、延べ2,600人の利用となっている。また、児童館の来館者が8,494人を超える利用があった。
利用者の感想は、県産材の杉、ヒノキを使用しているのが温かみのある施設と好評をいただいている。また、雨天の際にも、濡れることなく検診を受けることができ、利便性が大幅に向上したと喜ばれている。設備、機能については、それぞれの担当で各種事業を展開するべく検討している。

健康づくりルームで週1回3ヶ月プログラムを計画している。平成26年度は回数や募集人員を倍に増やして対応したい。
また、卓球台は18歳未満に限らず、大いに活用する方向で検討したい。
敷地内のえのきのアオバズク（ふくろう）は5月ごろ飛来し、秋には再び南下し、東南アジアで越冬すると聞いている。地域の方と職員が一緒になって見守り、住みよい環境をつくっていききたいと考えている。地元の皆さんの要望に応えて、えのきを残してよかったと思う。



今年益城で生まれた福ちゃんです



えのき



保健福祉センター

歯の予防 保育園・幼稚園での取り組みは

高橋 保育園、幼稚園ではどんな取り組みをしているのか。
虫歯予防にフッ化物洗口の実施を計画している
保護者、職員が共通認識をもって実施

町長 保育所・幼稚園の4歳、5歳を対象に、虫歯予防にフッ化物洗口の実施を計画している。フッ素を入れた水で1分間うがいをする事で、歯の質を強くし、虫歯に対する抵抗力が強化される。
現在は各園に向いて、保護者を対象に説明会を開催し、実施体制を十分に整備している状況である。
教育長 フッ化物洗口については、御船保健所、上益城教育事務所から、実施に関する意向調査があつており、県教育委員会の取り組みも示されている。
実施要領などを保護者、学校職員としっかり周知し、共通認識をもったうえで実施することが大切だと考えている。



甲斐 康之議員

益城カントリーから町長に手渡した500万円は、町への寄付金とすべきではなかったのか

寄付として受け取らず、三王免池の維持管理費として地元役員に渡した

小中学校の教室に冷暖房設備を設置してはどうか

汗を流した後、冷暖房より扇風機の方が体調管理しやすいとの識者の声もある。財政上の問題もあり研究、検討したい

500万円は、町への寄付として扱うべきではなかったのか

甲斐 益城カントリー倶楽部はゴルフ場入口の側溝整備をして欲しいと、500万円を町に対する寄付金として町長に渡したと話している。寄付者の意向を無視して、勝手にほかの目的に流用することは許されない。
受け取る際に、町長は寄付者に対して、町への寄付ではなく水利組合への維持管理費として使わせていただきますという了解を取ったのか。了解を取らなかったから今の問題が出てくるのではないのか。
町長室での受け渡しの際に、町長は同席者がいたと言っているがこの問題をはっきりさせるためにも、町長側の同席者が誰であったのか明らかにしていただきたい。同席していたと答弁していた領収書の発行人である本土山嘱託員N氏は当時嘱託員ではなく、入院されており、かつ同席できる状況になかったはずだ。N氏は受領していないのではないのか。

町長 2年前の議会で答弁しているように、いささかも変わっておらず寄付金としては受け取っていない。
500万円は、覚書に基づくゴルフ場側からの三王免池の維持管理費として、地元に対する支払いであり、寄付金として受け取る金ではない。横に座っておられた地元の役員の方から受け取った。N氏は入院しておられたので、代理の方が受け取った。

三王免池の維持管理費として受け取った

町長 2年前の議会で答弁しているように、いささかも変わっておらず寄付金としては受け取っていない。
500万円は、覚書に基づくゴルフ場側からの三王免池の維持管理費として、地元に対する支払いであり、寄付金として受け取る金ではない。横に座っておられた地元の役員の方から受け取った。N氏は入院しておられたので、代理の方が受け取った。



維持管理費として使うことを承諾していない、寄付金は議会の議決が必要である

甲斐 益城カントリー側は「町に対する寄付金として町長に手渡ししており、三王免池の維持管理費として使うことを承諾していない。町長は一人であり同席者はいなかった」と言っている。
寄付金は町の財政に納入しなければいけないものである。地方自治法96条9項は、寄付金は議会の議決が必要であるとしている。町長はそれを怠っている、地方自治法に抵触する可能性があるのではないのか。
500万円は、覚書に基づく未払い分である

町長 覚書に基づくゴルフ場側からの地元に対する支払いであり、地元の地権者の方からの要請があり受け取ったものである。

小中学校の教室に冷暖房設備を設置したかどうか

甲斐 今年の夏は猛暑が続き、厚労省の報告では室内でも熱中症で入院する患者数が多く発生している。県内の小中学校では、空調設備を設置する学校が増えている。上益城郡内の学校でも設置している町もある。
特に今年は、PM2.5による大気汚染が大きな話題になった。益城町でも教育学習環境をしっかりと整えるべきではないか。
体調管理や財政上の問題があるため、研究、検討をしたい

教育長 良い環境で教育を受けさせたいと願う保護者の心情は理解できる。
一方、夏は汗を流した後、空調で急激に冷やすより扇風機の方が体調管理しやすいとの識者の声もある、財政上の問題もあるので、空調設備設置については、研究、検討したい。

9月議会 常任委員会レポート



小池秋永新公民館建設予定地視察



広安西小グラウンドの視察

定住促進整備事業では、地元と十分な協議をおこなうように

建設 経済



第二鉄砂川下部工工事現場



定住促進整備事業予定箇所視察

建設・経済常任委員会では、付託された9議案について審査をおこない、いずれも原案の通り全会一致で可決・認定した。

なお、平成25年度一般会計補正予算では、鳥獣害防止対策事業補助金で質疑があり、「九州一斉広域捕獲が3月23日より30日までの8日間のうち日曜日を除き、実施される」との説明があった。

また、定住促進整備事業についても質疑がおこなわれ、砥川地区にインフラ整備として定住促進上下水道整備工事を行うとの説明を受けた。工事着工においては、地元と十分な協議をしたうえでおこなうようにとの要望があった。また、平成24年度決算認定について、一般会計では、県修と市街化区域拡大の

要望があり、公共下水道特別会計では、区域外流入負担金についての質疑があった。

現地視察では、グラインメッセ木山線、第二鉄砂川下部工工事現場、砥川地区の定住促進整備事業予定箇所、嘉島町道路路線認定承諾予定箇所を視察し、それぞれ担当から説明を受け確認をした。

9月議会 常任委員会レポート

総務

広安西小グラウンドの砂流出防止策の検討を

総務常任委員会では、付託された「平成25年度益城町一般会計補正予算」等の5議案について、慎重な審査の結果、いずれも原案のとおり可決・認定した。

なお、平成24年度益城町一般会計決算認定の中で、災害用の備品についての質問があり、飲料水及び五目ごはん300人分×3日分、粉ミルク、毛布、マット、救急セット等が備蓄出来たとの説明があった。更に、小中学校ICT支援員について質問があり、先生方を支援するために専門員を派遣して効果を上げている旨の説明があった。

また、国に対して「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める

る請願については、今後の福祉費等の増大に対応するために国会で十分に審議され決定された事項でもあり、意見書の提出には、全会一致で反対であった。

現地視察については、グラインメッセ木山線の鉄砂川橋梁下部工事箇所、広安西小学校のグラウンド及び小池秋永公民館建設予定地について確認した。

特に広安西小学校グラウンドの雨による砂の流失防止策について、今後何らかの対処策が必要であるとの見解であった。

待機児童

保育士不足が課題

福祉



ひろやす保育園の視察

福祉常任委員会では、付託された13議案（補正予算5議案、決算認定6議案、条例の制定2議案）について審査をおこない、関係課長から詳細な説明を受け、慎重審査の結果、いずれも原案の通り可決・認定した。

国民健康保険の運用では、医療費抑制のための運動、健診及び食事等の健康づくりや、ジェネリック医療品の活用方法等について、詳細な説明を受けた。

後期高齢者医療制度については、制度そのものに反対の意見はあったが、その他特段の意見はなかった。

また、条例の一部を改正する条例の制定については、特段の意見はなかった。

現地視察については、ひろやす保育園と益城町保健福祉センターを視察した。

ひろやす保育園では、運営方針や保育



ましき健診状況の視察（保健福祉センター）

士の確保の難しさ等について説明を受けた。

また、保健福祉センターでは、ましき健診・特定健診等の健診内容や受診者の現状及び保健指導等について、担当者から説明を受けた後、健診状況を確認した。

《8月12日臨時議会での議案への賛否の状況》

Table with 13 columns (議員名) and 2 rows (議案名). Columns include 中村健二, 江越信保, 山内親宣, etc.

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 採：採択 不：不採択 可：可決 否：否決 棄：棄権

《9月議会での主な議案への賛否の状況》

Large table with 13 columns (議員名) and multiple rows (議案名). Columns include 中村健二, 江越信保, 山内親宣, etc.

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 採：採択 不：不採択 可：可決 否：否決 棄：棄権

Table listing members of the Special Committee for the Assembly's Publicity and Propaganda. Members include 江越信保, 坂田みはる, 竹上公也, etc.

我が町にもオリンピックを指す勇者が居られることでしょ... 7年後に向けての日々の積み重ねが... 清水についても、町民の方々が手に取って読んでいただける広報誌として成長できるように、私達も益々充実した記事づくりに努力して参ります。

組合議会議から こんごちは!!

御船地区衛生施設組合

設備更新計画に役立つ、し尿汚泥再生処理センターを視察

組合議会は、8月7日から9日の日程で、し尿汚泥再生処理を行っている四国の2つの事務組合の処理施設を視察した。

当組合のし尿処理施設は、稼働22年を経過し、老朽化による設備の更新時を迎えている。数々の施策をほどこしながら耐用年数の延伸を図ってきたが、施設の急激な性能低下が見受けられるため、新たに資源化施設を設置した汚泥再生処理センターの建設が必要となるため、先行設備を行っている四国の事務組合を視察した。

初日は、香川県坂出市、宇多津広域行政事務組合、汚泥再生処理センターを視察した。処理能力は1日85キロリットルで、平成13年4月から稼働し、浄化槽公共下水道の普及状況の変化に対応する施設で、膜分離等最新の処理能力を整え、水処理設備から発生する



視察風景

汚泥の一部を堆肥化していた。2日目は、愛媛県伊予市、松前町共立衛生組合「塩美園」を視察した。

処理能力1日68キロリットルで平成12年4月から稼働し、し尿浄化槽汚泥の水処理設備から発生する汚泥と、学校給食の生ごみを合わせて処理し、堆肥化する資源化施設であった。今回の研修は今後の当組合の設備更新計画に役立つ内容のある視察であった。

全国町村議会 広報研修にて学ぶ

「伝える広報」から「伝わる広報」へ

議会が見える編集技術とは、

議会広報特別委員会は、9月30日から10月1日の2日間、東京で開催された第79回町村議会広報研修会に参加しました。

益城町議会広報紙「清水(せいすい)」は発行以来「52号」を数え、これまでに県広報研修会で「特選」を獲得するなど諸先輩方の努力は特筆すべきも



のがあり、多くの議会広報担当者の視察を受け入れてきました。しかし、現在の広報委員は新人が3名となり議会報発行の技術向上が求められていることから研修会に参加しました。

1日目は、文書表現インストラクターの山田ズーニー氏の「通じる・人を動かす！文書を書く」と題して、講演があり、コミュニケーションが通じる要件として、自分は相手からどう見られているか、一番言いたいことは何か、どんな結果を出したいか、想いは何か、相手へどう理解をさせるかなど、読者に本意が通じる表現力を教わりました。

次に武蔵野美術大学教授の長澤忠徳氏による「広報紙面デザインの基礎知識」と題して、フォーマット活用とレイアウト、プリントメディアの作り

方などメッセージとして広報紙の作成技術を学びました。さらに写真家の神島美明氏から「デジタル時代の写真術」と題して、多機能、高画質、大容量のカメラを使いこなすポイント、構図で見せる写真など、どのような感性を持って写真を撮れば読者に伝わるのか、ワンランク上の撮影法について学びました。

2日目は、議会広報クリニックスとして、広報・編集コンサルタントの芳野政明氏による、事前にクリニックスを希望していた9町村の議会広報紙が、①発行目的に沿った企画・編集になっているか、②読みやすさ、わかりやすさへの編集技術等の基準からきめ細かにチェックがなされる具体的な批評・指導が行われました。

「伝える広報から伝わる広報へ」として、見出しやリード文の有効なつけ方によって読む側へ伝わる読みやすさ、わかりやすさが大きく変わることなど、読者に伝わる紙面の構成技法を特に強調されました。今後、議会が見える編集技術の向上に努め、読みたくなる議会報作成に向け努力して参ります。(議会広報委員 甲斐康之)

編集後記

真夏の猛暑がいつまで続くのかと、人も動植物も耐えに耐えていた気がします。しかし、ゆっくりとではあるものの穏やかな秋の訪れに安堵している今日この頃です。

黄金色に輝き頭を垂れた稲穂、益城平野の稲刈り風景は、ほっとできる幸せな光景に感じます。

7年後の2020年、夏季東京オリンピック、パラリンピックの開催決定は日本中を熱くしました。私が町にもオリンピックを目指す勇者が居られることでしょ... 7年後に向けての日々の積み重ねが... 清水についても、町民の方々が手に取って読んでいただける広報誌として成長できるように、私達も益々充実した記事づくりに努力して参ります。(文責 坂田みはる)



健康長寿を目指して

7つのロコモチェックをしてみませんか？

- ① 片足で立ったまま靴下を履くことが出来ない
- ② 家の中でつまずいたり滑ったりすることが度々ある
- ③ 手すりがないと階段を上る事ができない
- ④ 15分（約1キロメートル）ほど歩き続ける事が出来ない
- ⑤ 横断歩道を青信号で渡りきれない
- ⑥ 2kgの荷物（1リットルの牛乳パック2本ほど）を持って歩くのが困難
- ⑦ 掃除機の移動や布団の上げ下ろしなど、力のいる家事が困難

★一つでも当てはまる項目があれば、運動器（ロコモ）が衰えています。

日頃から体を動かしましょう。

資料提供：保健福祉センター



楽器の音色に耳を研ぎ澄まし演奏中

全校生徒数274名の
木山中学校の文化系部活
動で頑張っている仲間達
を紹介します。
夕暮れが迫った放課後
の校舎、3階の教室やテラ
スでは、吹奏楽部の皆さん
がそれぞれの楽器を手に
練習に励んでいました。



木山中学校

入学式、卒業式、定期演
奏会、夏祭りなど、数多く
の出演の場に向けて日々
の努力を重ねています。そ
んな木山中学吹奏楽部の
良さは、「一人ひとりが個
性を発揮し、自己主張出来
る先輩後輩の関係にある」
と言えます。

吹奏楽コンクール出場
後一旦引退となる3年生
が、10月19日の文化活動発
表会に向け、後輩と共に練
習参加となりました。

元部長の山下さんいわ
く、「引退後徐々に後輩の
演奏を聴いて、とても上達
したことを感じ、これで後
輩たちに安心してあとを
任せられます」と、誇らし
げな素敵な笑顔で話して
くれました。そんな笑顔に
会えたのは、部員皆が母
さんのように尊敬する顧
問の堺詩代先生や、久米直
子先生のご指導によつて
生まれた、部員達の成長の
ように感じました。

続いて美術部、1年生4
名、2年生5名、引退した
3年生12名の中の5名が
出席し、アッサン、水彩画
と思いついた作品に取り
組んでいる所へお邪魔し
ました。

顧問の石川文明先生は
赴任2年目です。出来る



お気に入りの一枚を手に「はあ〜いチーズ」

だけ多くの良い作品を見
せ、触れさせることで描く
力を育てたいとおっしゃ
います。今年2回目となる
夏休みスケッチ日帰り旅
行には矢谷溪谷へ。

また第1回ふるさと彼
岸花祭りスケッチ大会に
も参加、壁画大会同様今後
も恒例となりそうです。

第66回熊日学童スケッ
チ展では、パンフレットの
表紙を飾る熊日賞に輝い
た保田君をはじめ、天賞、
地賞、人賞に計10名もの作
品が選ばれたことで、木山
中学美術部の名は県下に
広く知られることとなり、
部員の皆さんの頑張りが
光ります。

今まさに芸術の秋到来
です。

(取材 坂田みはる)